

○成道会の様子と生徒の感想



☆成道会に参加した生徒の感想

1年 Y.Tさん

今日は、成道会という式典が行われました。横浜市泉区にある普光寺の副住職、栗田僧正から法話をいただきました。

まず成道会とは、お釈迦様が悟りを開いたとされる日だそうです。仏教の授業で習いましたが、お釈迦様は「生・老・病・死」の苦しみから解放されたいと願い、出家したそうです。厳しい修行を何年も行い、身も心もボロボロになった時に村娘のスジャータから乳粥を貰い、徐々に回復していったそうです。そして、菩提樹という木の下で瞑想をしました。途中、様々な誘惑や悪魔が出てきますが、それらに打ち勝ち悟りを開きました。

また、「十戒」についても教えていただきました。一度聞いただけでは覚えられないくらい難しい言葉が出てきました。今日の法話では、その中の1つ「不殺生」についてお話しいただきました。私たちは、生き物を殺さないで生きていけない、だからこそ、いただく命に感謝して食べなければいけないというものです。5月に参加した高野山研修旅行で食事の前後に行ったものと似ていました。いただきます・ご馳走さまでしたの前後に感謝の言葉が付く感じです。だから僕は改めて、感謝することの大切さを感じました。食べられることが当たり前と思わず、今後も命をいただくのだという思いを持って、生活していきたいです。

1年 K.Hさん

今日の法話では、「成道会」とはお釈迦様が初めて悟りを開いた日であり、「悟り」とは心の迷いが解け、真理を会得することだと伺いました。私は今まで、何をやるのかが分からずあまり関心を持っていませんでしたが、「成道会」がどのような日なのか分かりました。また、お話を伺い、自分の悪いところと向き合ってそれを改善していきたいと改めて思いました。「人は皆自分の欲に負けてしまう生き物です」という言葉を聞き、自分にも当てはまっていると気づきました。昨日も、せっかく立てた学習計画を実行することができなかったからです。

このような小さいことから次第に自分に甘くなっていくのだと、お話を聞きながら考えました。これからはなるべく自分に厳しく、欲に負けないように努力したいと思いました。